

ヒブ・小児用肺炎球菌は5月から  
子宮頸がん予防ワクチンは安定供給が確認でき次第

# ワクチン接種で感染予防

市では子宮頸がん予防、ヒブ(インフルエンザ菌b型)、小児用肺炎球菌ワクチンを無料で接種できるようにすることで女性の子宮頸がんや乳幼児の細菌性髄膜炎などの予防を図っています。

ヒブと小児用肺炎球菌ワクチンについては5月から助成開始予定ですが、子宮頸がん予防ワクチンについては、ワクチンの安定した供給が確保でき次第お知らせします。

## ワクチンの概要

### ○子宮頸がん予防ワクチン

**対象者** 中学1年生から高校1年生の女子  
\*ただし、1カ月間の接種可能な人数に限りがある  
ことから、高校1年生から中学1年生まで学年ごとに受付する予定です。

### 標準的な接種パターン

3回接種(初回接種後、1カ月後と6カ月後)

### 副反応

一般的なワクチン同様、接種した後には注射をした部分が痛んだり、かゆみを感じる場合があります。また、注射をした部分が赤く腫れたりすることがあります。

全身的な副反応としては、疲労感や頭痛、吐き気、

嘔吐、下痢、腹痛などがあらわれることがあります。

なお、重い副反応として、まれにショック、または失神を含むアレルギー反応などが認められることがあります。助成については開始時期が決定次第詳細をお知らせします。

### ○ヒブ(Hib)インフルエンザ菌b型)ワクチン

**対象者** 2カ月以上5歳未満の乳幼児

### 標準的な接種パターン

初回免疫3回(4〜8週間の間隔)

追加免疫1回(初回免疫終了後概ね1年)

### 副反応

局所反応が中心で、注射をした部分が赤く腫れたり、痛みなどが認められます。

### ○小児用肺炎球菌ワクチン

**対象者** 2カ月以上5歳未満の乳幼児

### 標準的な接種パターン

初回免疫3回(27日以上の間隔)

追加免疫1回(初回免疫終了から60日間以上、かつ1歳を過ぎてから)

### 副反応

局所反応が中心で、注射をした部分が赤く腫れたり、痛みなどが認められます。

### 接種費用

無料(いずれの接種も)

### 接種方法

予診票を受け取った後、医療機関での予約が必要です

### 申請受付

ヒブと小児用肺炎球菌ワクチンについては次号でお知らせします。

## ともに考える

## 市民参加のしくみづくり

### 第1回政策検討市民委員会設立準備委員会を開催

市では、さまざまな政策を立案し決めていく過程に市民のみなさんの積極的な参加をいただくため、政策検討市民委員会の創設に向けて取り組んでいます。

3月9日には政策検討市民委員会の具体的な役割や運営手法などを検討する第1回政策検討市民委員会設立準備委員会を開催しました。

準備委員会は熱意と意欲を持って委員に応募された。

市民24人、各分野に精通する有識者10人、および市職員5人で構成されており、第1回の会合では政策検討市民委員会に対する思いなど多くの意見を出していただきました。

今後、準備委員会での議論を重ね、市民、有識者、市が一体となって市民参加のしくみづくりを進めていきます。



委員などを前にあいさつする  
市長(左)

問合せ先

企画課

☎35-3131